



すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会 2022年のまとめと交流会

神奈川県生協でつくる「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会」は、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を中心とした取り組みを行っていますが、2022年のまとめとして12月13日にまとめ交流会を開催しました。神奈川県原爆被災者の会扱いとして取り組んだ連絡会生協による署名は262,218筆となり、この一年間で新たに77,316の署名が寄せられ、連絡会の座長である當具伸一・神奈川県生協連代表理事会長より、神奈川県原爆被災者の会丸山進会長へ署名目録が手渡されました。

■ 日時／2022年12月13日（火） 14：00～15：30

■ 会場／神奈川県生協連事務所

■ 内容／

- * 開会挨拶 すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会座長 當具 伸一
- * 署名目録お渡し式
- * 神奈川県原爆被災者の会 丸山 進 会長よりご挨拶
- * 2022年、各生協で取り組んだことの共有
- * 神奈川県原爆被災者の会より「今年の主な取り組みと課題、生協への期待」
 神奈川県原爆被災者の会 東 勝廣 事務局長
- * 2023年の連絡会の活動について
 すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会は今年をもって解散をし、来年の核兵器廃絶に向けた取り組みは、改めて県生協連として課題をもって取り組むことが確認されました。
- * 神奈川県原爆被災者の会よりメッセージ 神奈川県原爆被災者の会 木本 征男 副会長



生活クラブ神奈川と被災地支援団体 東日本大震災・復興まつり2022を開催

11月12日、生活クラブ神奈川と被災地支援団体で「東日本大震災・復興まつり2022」を開催しました。

この間、震災や復興に関わる多くの取組みがオンライン開催となってきましたが、今年は神奈川県での感染防止安全計画に基づいた対策を行った上で、3年ぶりの実開催での復興まつりとなりました。

188もの団体の皆さまにご協賛いただき、東北から駆け付けた団体を含む63団体が89のブースを設け、会場には約3000名の来場がありました。ステージイベントでは、和太鼓の演奏やアカペラライブ、ダンスパフォーマンスなどが行われ、三陸のきれいな海で育ったわかめを配布する「わかめまき」には、たくさん子どもたちが集まりました。

会場となった横浜市の臨港パークでは天候にも恵まれ、参加者は大



いに交流することができ、「震災・復興を忘れない」ことをおおせいで共有する場となりました。生活クラブ神奈川はこれからも被災地とともに生きる関係づくりを築いていきます。

「20歳未満飲酒防止・飲酒運 転撲滅キャンペーン」に参加

酒類に係る社会的規制等関係省庁等連絡協議会では、毎年4月を「20歳未満飲酒防止強調月間」と定め、関係省庁及び各業界団体等が連携、協調して、未成年者飲酒防止に向けた全国的な広報啓発活動を行うこととしています。これを受け、神奈川県小売酒販組合連合会は、横浜駅において、東京国税局の後援、横浜中税務署、神奈川県、戸部警察署、JR横浜駅及び各関係団体の協力のもと「20歳未満飲酒防止・飲酒運転撲滅キャンペーン」を実施しています。本年度はコロナ禍の影響により3年半ぶり「アルコール関連問題啓発週間」に合わせて実施され、神奈川県生協連も参加しました。

実施団体：神奈川県小売酒販組合連合会（佐藤 和慶会長）

日時：2022年11月11日（金）14:00～15:00

会場：JR横浜駅中央通路



「富士フィルム生協まつり」 を開催

11月12日、「富士フィルム生協まつり」を開催しました。

当日はお天気にも恵まれ、たくさんの組合員さんで会場は大盛況でした。産直品の販売、ワークショップやフリマ、ホットカフェ、事業紹介など…内容も盛りだくさん！「皆さんに久しぶりに会えて楽しかったわ」「とってもらいフレッシュできた」とのお声も多数いただきました。全員参加の『大抽選会』では、大人も子供も大興奮となり大変盛り上がりがありました。

コロナ禍でここ数年、様々な活動や行事が中止となってしまう中、「人と人とのつながり」の大切さを改めて実感することができました。今後もたくさんの方へ喜んで頂ける活動を実施していきます。



研究フォーラム2022「ケアに満ちた地域社会をつくろう」開催

12月7日、県生協連も参加した「研究フォーラム2022」実行委員会主催で、「ケアに満ちた地域社会をつくろう『こども・若者ケアラー』の現状と課題」をテーマに開催し、オンラインも含めて157名が参加しました。

基調講演は、斎藤真緒氏（立命館大学教授）から、「こども・若者ケアラー支援の現状と課題」をテーマにお話いただきました。当事者の声を出発点にした支援の必要性、さらに、「ワーク・ライフ・ケア・バランスの重要性」について強調されていたのが印象的でした。その後の「てい談」を通じて、協同組合をはじめとした団体や企業、そして行政等との協働によるヤングケアラー支援の活性化に向けて、ともに考える機会となりました。





交流を楽しむ！フレイル対策 チェック編



「健康でくらしたい」みんなの共通の願いです。人との交流とフレイルの関係について東京都健康長寿医療センター研究所の鈴木宏幸先生にお聞きしました。

人と話すことで気持ちが軽くなったり気分が落ち着いたりするといった感覚は多くの方が経験したことがあると思います。この背景に関する研究的な説明として、日ごろ溜め込んでいる感情が人と話す事で解放される浄化(カタルシス)といった作用や、人と話す事で他者に共感してもらい情緒的な支援が得られるとする社会的支援(ソーシャルサポート)といった観点が考えられてきました。

近年になって、人の意識状態をつかさどる自律神経に関する研究から“社会交流神経”というものが提案されるようになりました(専門的にはポリヴェーガル理論と言われる考え方の中で提案されています)。社会交流神経は安心・安全を感じる環境で働きはじめるとされており、例えば赤ちゃんが『ん』などと声を出したとき、お母さんが同じような声の調子で『ん?』と言い返すような状況で双方の社会交流神経が働くと考えられています。この神経の働きが人と人とのコミュニケーションを円滑にするとともに、健康、成長、回復にも関与していることが指摘されるようになりました。交流が健康に関与する生理学的な背景が明らかにされつつあるとも言えます。

社会交流と健康の仕組みに関する解明は発展途上ですが、両者が密接に関係している事は既にフレイルに関する研究から明らかにされています。社会との関わりを私たちの日常に基づいて考えると、大まかに外出、交流、活動の3段階に分けられます。家の外に出る機会があれば日常の活動量が増加するので生活体力に対する良い影響が期待できます。人と交流することで心理面での良い効果が期待できます。仕事や趣味、ボランティア、町会の集まりなどの活動に参加する中で自然と様々な作業に取り組むことが求められ、それが生活機能に良い影響をもたらすことが期待できます。また、いずれの段階でも頭を使う機会になるという点で認知機能の維持・向上にも好影響が期待できます。

外出であれば日に1回以上、交流であれば週に1回以上、活動であれば月に1回以上行われる事が機能的健康の維持と関与している事が報告されており、フレイル対策の基準に使用されることもあります。いずれも頻度が多い方ほど良い影響があると考えられますが、まずはご自身の生活がそれぞれの基準を満たしているかをチェックし、弱い部分があれば積極的に取り組み意識を持って頂くと良いと思います。

東京都健康長寿医療センター研究所
鈴木 宏幸先生

川崎医療生協の「モルック」に体験参加しました。

神奈川県生協大会で川崎医療生協から紹介された「モルック」の体験教室が11月29日に川崎区冥加公園で開催されるということで、パルシステム神奈川の方と県生協連事務局メンバーが体験参加しました。「モルック」は老若男女が誰でも簡単に参加できるフィンランド発祥のスポーツとして、川崎医療生協では今年の秋より健康増進の一つとして取り組んでいます。

当日はペットボトル体操のあと、参加した18名の方がモルックを体験しました。皆さんは初めての参加でしたがルールにもすぐ慣れ笑顔で楽しんでいました。

モルックの概要

- ①モルックと呼ばれる木製の棒を3～4m先の12本のスキttl(木製のピン)めがけて投げ、倒した点数を争う競技です。
- ②点数は1本倒れた場合はスキttlに書かれている数字が入ります。2本以上倒れた場合は倒れた本数が点数になります。
- ③合計点が50点ぴったりになったチームが勝利です。50点を越えた場合は25点に戻り、再び50点を目指します。



川崎市生協運営協 第58回川崎市消費生活展にブース出展

川崎市生協運営協(会長:渡部さと子・パルシステム神奈川)は、川崎市で消費生活に関する知識の普及と市民の消費生活の向上を目的に毎年開催している消費生活展に参加しました。新型コロナウイルス感染対策により去年はパネル展示のみでしたが今年はコロナ以前の開催となり、人通りの多い場所に参加消費者団体8団体、協力団体2団体が集まり消費生活について学びの場を提供することができました。



- 開催日 / 2022年10月29日(土) 10:30~15:30
- 場 所 / JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路

[川崎市生協運営協] パルシステム神奈川、かわさき生活クラブ生協、福祉クラブ生協、ユーコープ、川崎医療生協

横須賀市生協運営協 横須賀市消費生活センターと交流&学習

横須賀市生協運営協(代表幹事:荒川美作保・パルシステム神奈川)は、横須賀市消費生活センター久保正彦所長を招き、横須賀市で起こっている消費者被害の状況をうかがい、質疑応答を中心に交流しました。トラブルに巻き込まれたときには消費生活センターが相手との間に直接入って対応してくれることがわかったり、また各生協での消費者トラブルの事例を共有することができました。



- 開催日 / 2022年11月7日(月) 13:30~15:00
- 場 所 / 横須賀市総合福祉会館 5F第1研修室

[横須賀市生協運営協] うらがCO-OP、パルシステム神奈川、神奈川みなみ医療生協、ユーコープ

2023年神奈川県消費者のつどい

私たちの食とくらしを考える
~「知らなかった」と泣く前に!

開催予告

- 日 時 2023年2月28日(火)10:00~15:15
- 開催方法 オンラインと会場
会場(新横浜オルタナティブ生活館)
※会場参加の場合、人数制限有
- 全体会 基調講演「日本の食と農が危ない」
講師 鈴木 宣弘氏(東京大学大学院教授)
事例報告「県内の生産者の取組について」
講師 飯草 英雄氏(県農協青壮年部協議会)
- 分科会 ①「知って安心!葬儀・お墓を考える」
②「地球とのフェアトレード」
~世界に優しく、地域に楽しく、未来に美しく~

神奈川県消費者団体連絡会 公開学習会

「なぜジェンダー平等が進まないのか」
~性差別・性暴力のない社会へ~

- 日 時 2023年1月12日(木) 13:00~14:20
- 開催方法 オンライン
- 講 師 太田 啓子 弁護士
(神奈川県弁護士会 湘南合同法律事務所)
- お申込み
- ①右の二次元コード、もしくは下記URLから
<https://forms.gle/Mcs6Cpc48Yac95iu7>
- ②メール: kanagawakensyoudanren@gmail.com
※メールには「所属団体名」「氏名」「お電話番号」「資料データ受信可能なメールアドレス」の記載をお願いします。
※申し込み締め切り 1月5日(木)



2022年度 第4回理事会報告

- 日時 2022年11月15日(火)14:00~15:52
- 会場 オルタナティブ生活館 301会議室(ハイブリット開催)

[議決事項]

1. 神奈川県生協連2023年度事業活動方針策定のすすめ方について
2. 役員報酬委員会の構成とすすめ方について
3. 第72回神奈川県生協連通常総会で選出する役員の選任区分について
4. 役員推薦委員会の構成とすすめ方について
5. 2023年賀詞交歓会開催及び役割分担について

[協議事項]

1. 神奈川県生協連2022年度上期活動報告と下期の主な課題について
議決事項について全員異議なく可決承認されました。

